

耳川水系総合土砂管理に関する評価・改善委員会
第14回 山地・ダム・河道・河口海岸領域ワーキンググループ

令和7年度のダム通砂運用（速報）について

令和8年3月16日



日本の
ひなた
宮崎県

宮崎県及び九州電力からのお知らせ



九州電力
ずっと先まで、明るくしたい。

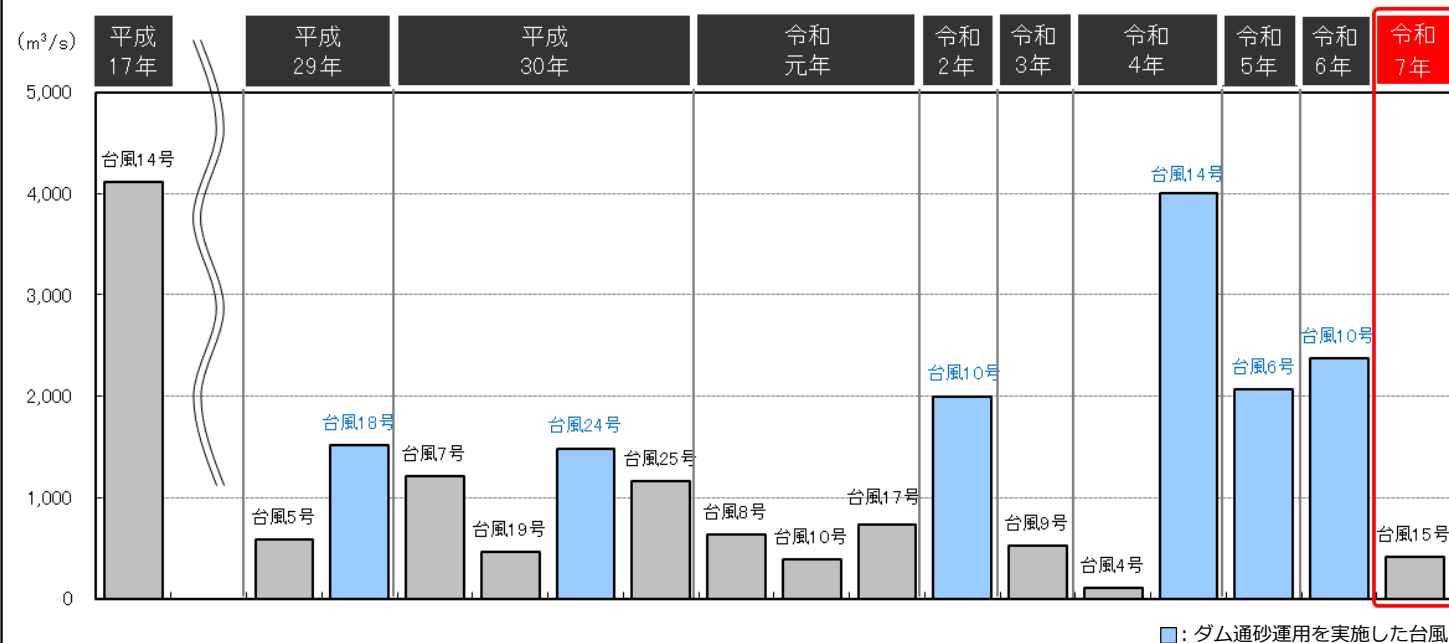
令和7年度のダム通砂運用（速報）について御報告します

○平成29年度より、西郷ダム及び大内原ダムにおいて、ダムの操作規程（河川法）に基づいた2ダム連携通砂を開始し、令和3年度からは、山須原ダムを加えた3ダム連携通砂を開始しました。

○令和7年度は、台風15号が接近しましたが、降雨量が少なく、ダム通砂を実施する流量が見込めないと判断し、ダム通砂は実施していません。

○なお、例年どおり、出水後の測量調査等のデータを基に、現在、分析・評価を行っています。この結果は、次年度のダム通砂運用計画と併せて、6月頃に改めて御報告いたします。

■【参考】山須原ダム地点の流入量



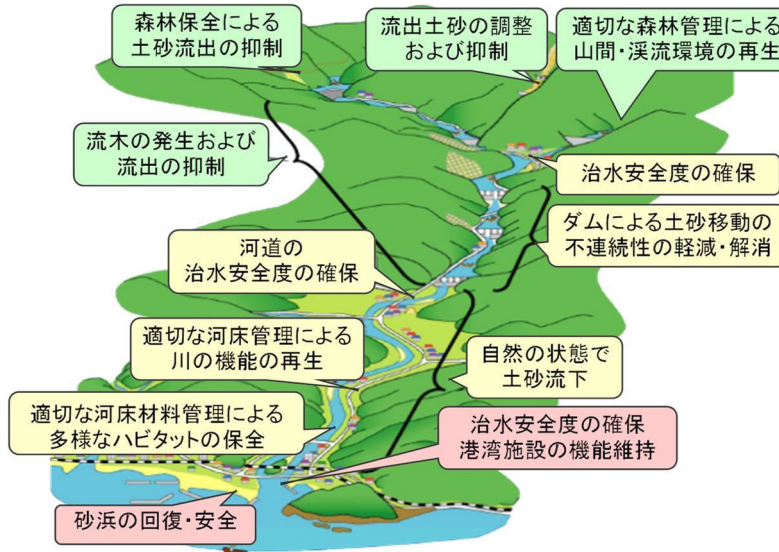
○ダム通砂運用の位置付け

ダム通砂運用は、平成17年台風第14号において、河川やダムに流入した土砂が浸水被害を拡大させたことを契機に宮崎県が制定した「耳川水系総合土砂管理計画」に基づいた取組の1つです。

【耳川水系総合土砂管理の「目標」】

「耳川をいい川にする。～森林とダムと川と海のつながり～」

■耳川水系のあるべき姿のイメージ



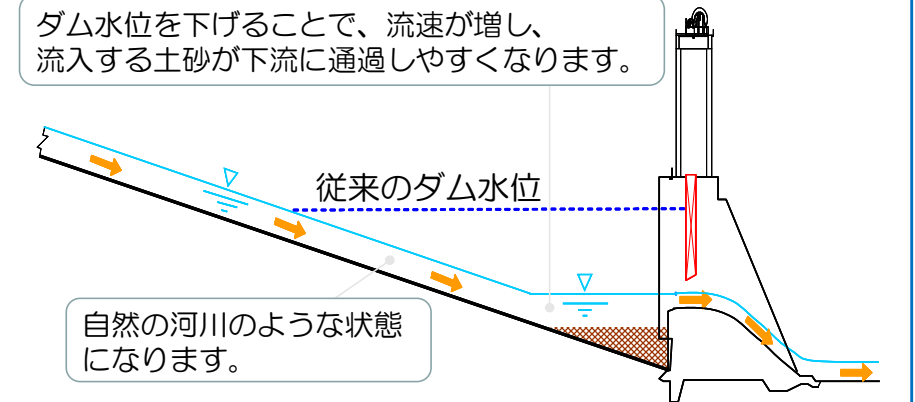
■主な役割分担

領域	主な取組み（事業）	担当
山地	○治山 ○砂防 ○森林整備 ○改良（林道網） ○造林	国 宮崎県 椎葉村 諸塚村 美郷町 日向市
ダム	○貯水池内（土砂移動、護岸補強、流木塵芥引上げ） ○ダム改造、 ダム通砂運用	九州電力
河道	○河川整備（土砂除去、築堤、宅地嵩上） ○魚類放流	宮崎県 椎葉村 諸塚村 美郷町 日向市
河口 海岸	○港湾維持（浚渫等） ○海岸漂着物等地域対策推進	宮崎県

○ダム通砂とは

台風による出水時にダムの水位を下げ、貯水池の水の流れを本来の川の状態に近づけることで、貯水池に流れ込む土砂をダム下流に通過させる取組みです。

【ダム通砂のイメージ】



○ダム通砂を実施するダム

九州電力では、平成29年度から西郷ダム及び大内原ダムにてダム通砂運用を行っており、令和3年度より、山須原ダムを加えた3ダム連携でのダム通砂運用を実施しております。

